

謹んで新年のお慶びを申し上げます。住民の皆さまには、日頃より町政へのご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、伝統の天津三大祭りに加え、新たなイベントである大津夜市の開催や多様性を尊重するおづインクルパークの初めての開催があり、さらに大津町出身のパレーボール代表古賀選手やマラソン代表赤崎選手がパリオリンピックで活躍するなど、各方面において活気溢れる一年になりました。

町の状況を見ますと、さらなる企業の進出や宅地開発が進み、町をとりまく環境は大きく変化しています。こうした中、町としてはJAS M進出による追い風を生かす一方で、急激な変化に伴う課題の解消に努めています。

一例をご紹介しますと、まず渋滞緩和策として、企業従業員向け通勤バスの実証運行や信号表示時間の変更などの短期取り組みを行いながら、県立翔陽高校前の町道三吉原北出口線の多車線化などの中長期視点での取り組みも進めています。また、中九州横断道路「大津道路」の早期完成に向けても国や県と連携強化を図りつつ着実に進めていきます。

一方で、近年利用者が急増している肥後大津駅は、今後さらに交

住民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと存じます。平素から町議会に對しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、2024パリオリンピックの男子マラソンで町出身の赤崎暁選手の入賞、パレーボールの古賀紗理那選手の活躍、大津高校サッカー部が初めて高円宮杯プレミアリーグにおいて優勝し日本一を達成、更には全国高等学校サッカー選手権大会出場などスポーツの町大津を全国に発信していただき住民の皆さまと一緒に感動し、夢と希望をいただきました。

また、阿蘇くまもと空港の国際線の増便、誰もが楽しく遊び、さまざまな交流の拠点として、空港東側に「そらよかエリア」も完成、併せて、熊本駅から肥後大津駅までの豊肥本線が電化され25周年を迎え、空港までのアクセス鉄道の調査開始、JAS Mの工場完成に伴う企業誘致や住宅開発をはじめ、観光や交流人口も増加し、社会経済活動も急激に変化しています。

議会関係では、次世代を担う中高生10人が、政治に関心を持ち、

通結節点としての役割を増し、くくと見込んでいます。昨年より新たに取り組んでいる肥後大津駅周辺の整備を順次進めるとともに、その先の空港アクセス鉄道「中間駅」の設置も見据えながら、未来に向けた取り組みにも邁進していきます。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくりに向けては、こども家庭センターの設置や町立大津幼稚園の民営化と認定こども園への移行が完了し、大津町総合運動公園にはインクルーシブ遊具広場が完成しました。現在は新たな町立認定こども園と子育て支援拠点施設の一体的な整備に向けた準備を進めています。学校施設では、護国小学校の屋根改修工事が竣工し、大津中学校の長寿命化改修工事も着々と進んでいます。現在、大津町こども計画の作成を進めていますので、今後も乳幼児期から若者世代まで、一貫した切れ目のない支援を進めていきます。

人生100年時代を見据えた福祉については、高齢者が生きがいをもって、健康で安心して暮らすことができるまちを基本理念として、第9期大津町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を行いました。昨年は高齢者免許証自主返納支援事業による熊本地域振

町政の課題や問題を調査し、新たなまちづくりを町長、教育長に提案、提言する「ジュニアリーダー夢議会」を開催し、感性豊かな発想と視点で、熱い議論が交わされました。

9月定例議会で、各常任委員会および議員全員で審議や議論を行い、住民皆さまのニーズや負託に応え、新年度予算などに反映するよう議会から執行部に政策提言を行うとともに、議会としての役割を十分に発揮し、議員と議員、議員と職員が互いに個人の尊厳や人格を尊重し、相互の信頼を深め、議会活動や勤務環境を確保するため「大津町議会ハラスメント防止条例」を制定し、住民から信頼される議会の実現を目指す新たな取り組みを進めました。

また、議会活性化や議員のなり手不足への対応として、住民との接点、議員定数、報酬、政務活動費などの議論を重ね、住民の皆さまや各種団体との意見交換会、アンケート調査も実施しました。

更には、平成10年以来26年ぶりに議員報酬を見直すため、大津町特別職報酬等審議会を開催するよう要望し、審議会から改選後の議員に対する報酬の増額が答申され、これを議会で可決しました。今後新たなステップに向けた議員

興ICカードやタクシー利用券の支給を開始するとともに、民間のノウハウやICTを活用した健康寿命延伸に向けた取組みも引き続き推進しました。今後も住民のすべての皆さまが幸せであり続けられるまちづくりに取り組んでいきます。

一方で、町が激変するからこそ一層、町の歴史文化や自然を力強く継承するとともに、繋がりを大切にしたまちづくりを進めていく必要があると考えています。熊本地震で被災した国指定重要文化財の江藤家住宅は7年間におよび復旧工事が終わり、昨花落成式が行われました。また、熊本の豊かな水を守るために白川中流域における水田湛水推進に関する第三次協定を締結し、地下水を涵養するための取り組みにも従前以上に努めています。さらに、全国から多くの支援を頂いた熊本地震での経験も生かしながら石川県輪島市への職員派遣やふるさと寄付金の代理受付を実施するなど、被災地の復旧・復興に向けた支援を積極的に行いました。

今後も産業振興と自然や文化が調和する「農工商併進の歴史ある大津町」であり続けるため、職員一同一丸となって取り組んでいきますので、より一層のご理解とご

活動と情報提供の強化を進め、開かれた信頼される議会を目指していきます。

このように、議会全体の充実に向けて、大いに議論し、議会力の向上や議会活動の見える化に努めるとともに、住民の皆さまとの対話や交流、意見交換、議場見学および広報活動など、双方向の情報発信や広聴に努めた4年間の活動に對しまして、深いご理解とご支援をいただきお礼申し上げます。今年3月から、大津町議会は新しい体制に引き継がれることとなります。

今後も、大津町がさらに進化する、皆さまの夢と希望がかなう元気な町でありますようお願い申し上げます。

結びにあたり、住民の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大津町議会議長 桐原 則雄

町議会議員

- 大村 裕一郎 田代 元氣
- 時松 智弘 面川 秀貢
- 大塚 益雄 三宮 美香
- 山部 良二 山本 富二夫
- 豊瀬 和久 佐藤 真二
- 大塚 龍一郎 坂本 典光
- 永田 和彦 津田 桂伸
- 荒木 俊彦

協力をお願い申し上げます。結びに、本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

大津町長 金田 英樹  
副町長 工藤あずさ  
教育長 吉良智恵美

# 令和7年 新年のごあいさつ

大津町議会議長  
桐原 則雄

大津町長  
かなだ 金田 英樹